

【生徒の実態】

- あらゆる活動の場で、仲間や教師の願いや思いに気持ちを寄せて協力的に活動できる。
 - ・授業で、課題に対して誠実に取り組める。
 - ・あいさつや応援、合唱で大きな声を出せる。
 - ・VS活動など、呼びかけにこたえて活動できる。
- 生活の中で、多くの仲間と声がけしながら、積極的に行動できる姿がある。
 - ・授業で、仲間と分担したり、相談したりして追究できる。
 - ・係や生徒会活動で、自然に手伝う姿がある。
- 課題
 - ① 学習で、自ら課題を求めて学力の定着をはかること。
 - ② 各種集会で、仲間の考えを取り入れた考えを表現すること。
 - ③ うまくいかないことに出会ったとき、自ら解決しようとする。解決のために精一杯力を発揮すること。

【指導の基本姿勢】

- (1) 生徒の話をよく聴き、生徒同士をつなぎ、待ちます。
- (2) いじめは絶対に許さず、最優先で解決に向け取り組みます。
- (3) 「非違行為ゼロ宣言」を出し、生徒や保護者の信頼に応えるべく、自ら求めて研修し、指導力向上に努めます。

【学校教育目標】

強く 賢く 共育ち

目指す生徒の姿

- (1) 主体的に学習に取り組み、粘り強く追究できる生徒 「強く」
- (2) 心も体もたくましく、賢く誠実に生活できる生徒 「賢く」
- (3) 自分を厳しくみつめ、他を思いやり、共育ちできる生徒 「共育ち」

【本年度の重点】

「インクルーシブ、知るからできるへ」

学校・教室・授業のユニバーサル化による
誰もが安心して楽しく学べる環境づくり
～ リスペクタゼース：他を敬う ～

【学校の歴史】

- (1) 昭和33年(1958)開校。5小学校から通学する広い学区
- (2) 市歌に謳われる「墨坂の森」を学区にもつ須坂の歴史が息づく風土。「須坂(すざか)」の語源は「す御さか」がまつだものされる。
- (3) 「墨」は赤々と燃える「炭」を指す。スクールカラーは橙(オレンジ)。
- (4) 北信五岳をはじめとする山々の雄姿に囲まれ、学舎南に流る百々川の土手をランニング(通称テラン)できる美しく豊かな自然

【本校の誇り】

- (1) 全校が一つの響きに包まれる校歌合唱
- (2) 無言ひざつき4回かけ清掃
- (3) 誰にでもさわやかなあいさつ
- (4) 全校一丸となったボランティア活動(通称:VS活動)
- (5) プロセスを大切に墨坂祭への歩み

【PTAや地域との連携】

- (1) 資源回収やPTA作業での共働作業の充実
- (2) PTAコーラスが墨坂祭、PTA音楽祭へ参加
- (3) 学校評価の実施と改善策立案、お知らせ
- (4) 「墨中CS」「共育ちの会」による地域との連携

重点1 授業の基本的な姿勢を身につけさせ、基礎学力の向上を図る

【全校研究テーマ】

学び合いを生み出す集団づくり

～各教科の授業における“関わり合い”の具体化～

- (1) 生徒が自ら課題をもち、主体的・協力的に取り組む授業実践を積み重ねます。
 - ① 生徒が主体的に取り組めそうな「問い」を工夫し、学習問題として設定します。
 - ② まなボード(ホワイトボード)等を用いて、共に学ぶ事で「分かった」「力がついた」と実感できる協力的な学びを構築します。
 - ③ 伊豆太研修シートを用いて、一人一公開を実施し、参観者とりフレクションの時間を確保し、授業改善に努めます。
- (2) 授業と継続的な個別指導・支援により基礎学力の向上を図ります。
 - ① 全国学力学習状況調査、総合学力調査より導き出された課題を踏まえた指導、支援をします。
 - ② 定期テスト前や水曜日に「学習相談」の時間を確保し、学力の向上を目指します。
- (3) 授業の基本的な姿勢を身につけさせます。

【教室掲示:4つの約束】

 - 1 友だちや先生の集中を妨げない
 - 2 確認してから次に進む
 - 3 ハッキリとした口調と文字で笑顔をそえて
 - 4 こわい言葉よりやさしい言葉を
- (4) 生徒に力がついたかを評価し、継続的な指導をしていきます。
 - * 生徒の授業アンケート*
 - * 生徒の生活・学習実態調査等
 - * 学校評価(生徒・教師・保護者・墨中CS)

重点2 生徒会活動の充実
社会を創造できる力の育成

- (1) 生徒会活動を通して自治の活動を支援します。

生徒会スローガン:
重点目標:
- (2) 自分から他との関係を求める活動に力を注ぎます。

【授業・あいさつ・VS活動・墨坂祭・部活動・地域連携等】
- (3) 思いを醸成する活動に力を注ぎます。

【授業・読書・あゆみ・立志式・通信・校長講話等】
- (4) 思いを表現する活動に力を注ぎます。

【授業一合唱活動・各種集会・清掃・墨坂祭・日常の言語活動等】

【安心・安全な学校づくりに向けての取り組み】

- (1) 交通安全教室や防犯教室等の開催、街頭指導等により生徒が安全に心がける姿勢を身につけさせます。
- (2) 学校だよりを発行し、学校の様子や生徒の現況を保護者に伝えます。また、HPの更新をこまめに行います。
- (3) 緊急性の高い学校情報等を保護者の携帯電話に一斉配信するシステムがあります。
 - * 体罰、セクハラ、パワハラ等の窓口は、教頭、養護教諭となっておりますのでご相談ください。(TEL245-0564)

重点3 中学生にふさわしい、
はじめのある健やかな生活

- (1) 中学生にふさわしい、はじめのある健やかな生活を築きます。
- (2) 全校の中核活動として、「無言清(静)掃」の指導に力を入れます。
- (3) 生徒会活動を充実し、自分たちの生活は自分たちで改善していく実践を行います。
- (4) 生徒との対話を重視し、生徒理解の上に立った細やかな指導・支援を行います。
- (5) 複数学級担任制を導入し、職員のチーム力を生かした指導に全職員であたります。

(職員一人一人の持ち味を生かした貢献)
- (6) 生徒指導の進捗状況はリアルタイムに家庭に伝え、情報を共有化し、その子の為に何かできるかを家庭と学校が協働(学校では一家庭では何をするかし、折り合いを図ります)。
- (7) 人権同和教育を推進します。

(半径5mからのLove and Peace)

 - ・個と集団の関わりを意識し、構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを通して好ましい人間関係づくりを進めます。
 - ・道徳教育の充実を図ります。
 - ・課題を共有し、改善に向けた取り組みを行います。
 - ・地域課題を見据えた人権同和教育を推進します。

【学校評価で70%以上を目指す項目】 「授業が分かりやすく、生徒が楽しく学んでいる(65.0%)」 「生徒は、復習や課題の提出など、家庭学習の習慣ができてきている(63.2%)」
「気軽に学校へ連絡することができる(69.2%)」 「保護者は学校の授業参観、PTA活動等に積極的に参加している(55.3%)」